

田原市

あなたと議会を結ぶメッセージ

議会だより

No.84

令和4年4月15日号

今月の渥美半島の花
「カスミノウ」



令和4年第1回定例会 (3/2~3/22)

- 定例会で決まったこと 2 ページ
- 税金の使い方が決まりました 4
- 議案一覧・主な質疑 6
- 一般質問 (代表質問・個人質問) . . . 12

令和4年第1回臨時会 (1/24)

- 臨時会で決まったこと・議案一覧・主な質疑 . . . 20

その他

- 令和3年 議会活動状況の報告 11
- 議会の活動 21



おもてなしの気持ちでまちづくり !!

清田・福江校区まちづくり推進協議会と福江中学校「ドリームの会」の皆さん
(インタビュー22ページ)

目指す新年度予算を可決

令和4年第1回 定例会 (3月2日～3月22日)

このようなことが決まりました

市長提出議案	33件
議員提出議案	2件

令和4年第1回定例会を3月2日から3月22日まで開催しました。
令和4年度一般会計予算などを含む市長提出議案33件を、いずれも原案のとおり同意・可決しました。
また、議員提出議案の決議案1件を全会一致で可決。意見書案1件は賛成多数で可決となり、国の関係機関に送付しました。

▷関連4～10ページ

▽関連
4・5ページ



3月10日、14日から16日の4日間、予算決算委員会で令和4年度予算案を審査し、3月22日の本会議最終日に全ての予算を可決しました。

税金の使い方が決まりました

議案第30号令和4年度一般会計予算ほか4件

持続可能なまちづくりを

議案第28号令和3年度一般会計補正予算（第9号）

農業経営活性化事業等を含む
一般会計補正予算を可決

施設園芸の省エネルギー化や収益性向上に資するヒートポンプや二重カーテン等の導入・改修の補助金ほか、福江小学校校舎の長寿命化改修費などが盛り込まれました。



議案第35号令和4年度一般会計補正予算（第1号）

「伊良湖クリスタルポルト」
を購入します

重要な観光拠点である伊良湖地域の振興と、道の駅の機能回復のため、「伊良湖クリスタルポルト」の取得経費が計上されました。



令和4年度予算審査

税金の使い方が決まりました

市長から、令和4年度の予算案が提出され、議長以外の全議員で構成する予算決算委員会において、内容を審査しました。

審査の結果、全ての予算を可決し、令和4年度の税金の使い方が決まりました。

■ 特別会計の内訳

国民健康保険特別会計 80億5,951万円

後期高齢者医療特別会計 9億2,698万円

■ 企業会計の内訳

水道事業 (収益的支出) 12億1,531万円

(資本的支出) 6億3,477万円

下水道事業 (収益的支出) 25億2,276万円

(資本的支出) 12億1,970万円

総額	430億5,902万円 (前年度比 +8億3,370万円)
一般会計予算	284億8,000万円 (前年度比 +8億5,000万円)
特別会計予算	89億8,648万円 (前年度比 +1億3,460万円)
企業会計予算	55億9,254万円 (前年度比 -1億5,090万円)

「新たな価値により、

未来へステップアップ」予算

市の財政状況は、依然として行政需要に対する収入規模のアンバランスが解消しておらず、社会動向を踏まえ、地域活力を維持していくために、一層の支出適正化と長期的な財源確保策を構築する必要があります。

そこで、令和4年度予算編成は、感染症の影響により先行きが不透明な状況ながらも、「総合計画第16期実施計画」に掲げる施策を着実に推進させつつ、地域の魅力を磨き、社会基盤を充実させ、コロナ後の新しい社会を見据えた取り組みを展開するための「新たな価値により、未来へステップアップ」予算案が、市長から提出されました。

令和4年度の重点施策

- ① 住んでみたい・訪ねてみたいまちづくり
- ② 住み続けたいまちづくり
- ③ 未来につながるまちづくり

▽予算決算委員会での審査は

8・9ページ



令和4年度 主な事業

令和4年度の新規事業
を中心にご紹介します。

(万円未満四捨五入)



スマート農業の推進 300万円

持続可能な農業の実現のため、
ロボット技術やICTの活用を支援



市街地への定住誘導施策 2,940万円

宅地開発を促進し、
市街地への居住を誘導



温泉を活用した観光振興 2,067万円

市内外への観光プロモーションなど
一体的な観光振興を実施



あかばねこども園の運営支援 1億7,875万円

新設の「あかばねこども園」
および「こがめルーム」の運営支援



高潮ハザードマップの作製 375万円

防災意識や避難の心構えを養うため、
ハザードマップを市民に配布



社会教育施設等の感染症対策 6,537万円

感染症リスク低減のための
トイレの洋式化と手洗いの自動水栓化



自治会等のICT化支援 305万円

地域コミュニティ連合会が行う
自治会等のICT化実証実験を補助



し尿処理施設の統合整備 3億3,627万円

し尿受入施設の受入開始に伴う
衛生センター(高松町)の解体撤去

令和4年第1回定例会議案一覧

議案 番号	市長提出議案
3	公平委員会委員の選任 (山本晴樹氏)
4	個人情報保護条例の一部改正
5	一般職の任期付職員採用等に関する条例の一部改正
6	職員の育児休業等に関する条例の一部改正
7	議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正
8	特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正
9	教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正
10	職員の給与に関する条例の一部改正
11	使用料及び手数料条例の一部改正
12	児童遊園の設置及び管理に関する条例の一部改正
13	児童発達支援センターの設置及び管理に関する条例の一部改正
14	公共駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正
15	道路占用料条例等の一部改正
16	地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正
17	消防団員等公務災害補償条例の一部改正
18	新たに土地が生じたことの確認
19	公有水面の埋立てに伴う字の区域の変更
20	愛知県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び愛知県市町村職員退職手当組合規約の変更
21	財産の無償譲渡

24	市道路線の認定
25	市道路線の変更
指定管理者の指定	
22	セントファール駐車場 (株式会社あつまるタウン田原)
23	伊良湖温泉給湯施設(一般社団法人渥美半島観光ビューロー)
26	池ノ原会館(公益財団法人華山会)
27	華山会館(公益財団法人華山会)
令和3年度補正予算	
28	一般会計(第9号)
29	国民健康保険特別会計(第1号)
令和4年度予算	
30	一般会計
31	国民健康保険特別会計
32	後期高齢者医療特別会計
33	水道事業会計
34	下水道事業会計
追加議案	
議案 番号	市長提出議案
35	令和4年度一般会計補正予算 (第1号)
議案 番号	議員提出議案
意見書1	ロシアによるウクライナへの軍事侵略を非難する決議
決議1	地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する意見書
1	請願 ガンリン及び軽油価格に対する補助金増額を求める請願書

※議案番号欄が白の議案は、賛否が分かれた議案です。

主な質疑

議案に対する
委員会・本会議での
質疑・意見です

議案 No.13

児童発達支援センターの設置及び管理に関する条例の一部改正

分館移転を高松保育園としたのは、先見の明をもってのことか。

本年度閉園する高松保育園は、大久保町の児童発達支援センターと連携しやすい位置にあり、市内全域から通いやすい場所であるなど、将来的な視点を踏まえ移転先とした。

童浦校区は、今後子どもが多くなる地域であるが、人口に比例して分館の利用者が多くなることを想定した上での移転か。

人口動向を踏まえた移転ではなく、利用者の通いやすさ、公共施設の有効活用、費用対効果など総合的に判断した。

3/9 文教厚生委員会

議案 No.6

市職員の育児休業等に関する条例の一部改正

育児休業に係る研修を、今後どのように実施していくのか。

育児休業等に対する研修はこれまでも行ってきており、今回の条例改正を踏まえ、さらなる充実、制度の周知に努めたい。

男性の職員も育児休業を取得していると聞かすが、その取得経験を生かし研修の講師を務めてもらうことは考えられるか。

過去に実施したことがあり、聴講した職員からは、参考になった、具体的でイメージしやすかったという感想もあったことから、今後機会をみて実施していきたい。

議案 No.23

伊良湖温泉給湯施設の指定管理者の指定

一般社団法人渥美半島観光ビューローを任意指定した理由は、

長年、本市の観光振興を牽引し、観光振興策等を熟知する市内唯一の団体として選定した。

指定管理期間を3年と定めた理由は、
は、
新しく運用を開始する施設で、管

理運営の実績がない状況のため、長期の5年ではなく3年とした。

問 直営による管理方法は検討したか。

答 事前に検討したが、指定管理を行うことで、人的負担等の縮減、民間活力による温泉利用者へのサービス向上など、より安定的・効果的な運営が期待できるため、今回は指定管理とした。

(3/9 総務産業委員会)

議案 No.28

令和3年度一般会計補正予算(第9号) 地方交付税

問 今後も普通交付税を確保するため、どのような取り組みをするか。

答 国が現在進めている施策に合致する事業は手厚く交付税措置が行われるため、これらの取り組みを進める。

議案 No.30

令和4年度一般会計予算 臨時財政対策債

問 大幅な増額を見込んだ理由は。

答 令和3年度の法人市民税減少などの影響により、交付税算定上の収入が減少するため、普通交付税の

交付額とともに増額すると見込んでいる。

防犯啓発・地域巡回事業

問 特殊詐欺対策装置の購入費補助の創設経緯は。

答 愛知県警で特殊詐欺対応型の機器の効果が実証されており、デジタル機器を市民の安心・安全に活用していく観点から創設した。

総合計画推進事務

問 総合計画策定の進め方は。

答 令和4年度・5年度の2カ年で策定を予定しており、4年度は委託業者の選定、市民意識調査の実施、審議会を設置等を予定している。

まち・ひと・しごと創生推進事業

問 ホテル等の宿泊施設を利用してお試し移住支援事業を行う理由は。

答 実証的に行う上で、できる限り整備費等をかけず、参加者が宿泊場所を自由に選択できるようにするため。

問 レンタカーの利用料を補助する狙いは。

答 市域が広く特徴的なスポットが存在しているため、レンタカーを気

軽に借りられる環境を整えることで、周遊を促し、魅力の発見、その先の土地・住居探しにつながるばと考えた。

雇用推進事業

問 たはら企業フェアの内容は。

答 人材、担い手の確保、人口流出防止のため、バーチャル空間に会場を設け、市内の魅力ある企業の紹介、担当者からの説明を受けるもの。令和4年度は中学・高校と連携しながらの実施を考えたい。

中小企業活性化推進事業

問 渥美半島たはらブランドの冊子作成の効果は。

答 様々な場面で配布することで、本市の魅力ある地域ブランド商品や市自体の知名度向上、各商品の販売拡大に高い効果があると考えられる。また、新たに渥美半島たはらブランドプレミアム冊子を作成し、より情報発信力の向上につなげる。

(3/10 予算決算委員会)

結婚支援事業

問 独身男女に触れ合いの場を提供するため、どのような取り組みを実施していくのか。

答 結婚相談所ふれあい相談センターを活用し、感染症対策を実施した上で、出会いイベント等を実施する。感染状況によっては、オンラインでの婚活パーティーや結婚相談会を実施していく。

国民健康保険特別会計繰出事務

問 愛知県下の保険料統一の動きは一般会計の繰出金に影響が出てくると思うが現在の状況は。

答 各市との議論は進めているが、県内同一の保険料とする時期はまだ示されていない。

問 法定外繰出金の考え方は。

答 市の被保険者は変動の大きい事業所得が主となっているので、被保険者に過度な負担にならないように税率改正や県の財政安定化基金の活用とともに検討しながら安定的な運用を行う。



介護人材確保対策事業

問 介護従事者の就職の奨励金を1人あたり5万円とした根拠は。

答 入学補助金10万円を合わせると田原福祉グローバル専門学校の入学金と同額となり、入学金の経済的負担感を緩和できるような学生確保と人材確保の両面から設定した。

問 奨学金の効果をどのように確認するのか。

答 学生確保の状況や市内就職者の状況を注視するとともに学校を通じて学生の意見を聞くなどする。

介護予防普及啓発事業

問 新たに作るご当地体操をどう広めるのか。

答 健康づくりリーダーの活動の中で広めていきたい。また作成したDVDを自主サロン等のグループに無料配布することも考えている。

子ども・子育て支援事業

問 LINEを活用し、どのような情報を発信するのか。

答 保育所の入園手続きに関すること、一時預かり事業、子育て情報、イベント情報等様々な情報を発信していく。

たはらエコ・ガーデンシティ構想推進事業

問 令和4年度再生可能エネルギー導入目標策定を行う理由は。

答 市町村における策定は努力義務だが、たはらエコ・ガーデンシティ実現のためには再生可能エネルギーの活用が重要であり、導入促進には必要であるため。

担い手支援事業

問 新規就農者育成総合対策事業補助金の対象は。

答 49歳以下で、令和4年度新たに農業経営を開始する認定新規就農者。県が作成する目標や方針に沿った取り組み計画に応じた事業採択方式で、初期投資的な経費を対象とし、本人負担分は融資を受けていること。

農業経営活性化事業

問 スマート農業推進補助金の対象器具は。

答 農林水産省が取りまとめたスマート農業技術カタログに掲載されているものうち、機械やシステムアプリケーション等となる。

問 補助金額上限が10万円では少ないのでは。

答 より幅広い農家に様々なスマート化の技術導入が進むことで、地域全体への普及に結び付けたい。

漁業者団体支援事業

問 産地偽装問題の背景には漁業者の厳しい経営状況があるが、漁業者を支援して経営の安定化を図っていく取り組みは。

答 県と協力し、水産多面的機能発揮対策事業等により漁業環境の改善に継続して取り組むとともに、令和4年度はノリの品質向上に向け、渥美漁業協同組合が行う金属検出器の導入を支援していく。

問 水産物の付加価値向上に向けた取り組み支援はどの程度可能か。

答 提案があれば水産アイデア支援補助金等により支援が可能になっている。

(3/14 予算決算委員会)

道路管理事務

問 ドライブレコーダーを用いた道路点検AIシステムの具体的な利用方法は。

答 道路点検システムの導入により公用車などから広域な路面状態のデータを自動的に収集し、損傷箇所を地図上に可視化することで速やかに道路修繕等につなげていく。

都市計画推進事業

問 宅地建物取引業者への民間宅地開発等奨励金は具体的にどのような工事が対象になるのか。

答 宅地開発後、市に財産帰属することになる道路の側溝や舗装、上下水道の本管、下水道の宅地への引き込み管の整備費が交付対象。

公共駐車場管理運営事業

問 田原駅南公共駐車場で使用できる交通系ICカードの種類は。

答 マナカやトイカなど約10社の主要な交通系ICカードの使用を想定している。



災害対策事業

問 新規で作成する高潮ハザードマップは高潮の情報のみ対象としているのか。

答 高潮に加え、土砂災害警戒区域、河川の浸水予想、公共施設や避難場所の位置、風水害に関する知識や避難行動に役立つ情報などを盛り込む予定。

防災備蓄資機材等管理事業

問 各避難所には燃油による自家発電機があるが、新たに可搬型給電器を整備する必要性は。

答 キヤスター付きで持ち運びが容易なこと、電動車さえあれば電力供給が可能であることから、自家発電機を補完し、あらゆる場面での活用が想定されるため。

童浦小学校整備事業

問 事業目的である教育環境の充実をどのように図るのか。

答 手狭になった体育館の改築、校舎等の機能回復や機能充実、追加を含めた長寿命化改修を行う。

問 設計を進めるに当たり、具体的にどのような点に配慮するのか。

答 体育館はアリーナの面積拡大や体

育器具の更新、トイレや手洗い場の衛生環境の向上、また児童クラブの併設や避難所としての防災機能の追加等に配慮する。

図書館運営事業

問 図書館がデジタルデバイス（情報格差）解消に取り組む意義は。

答 図書館は市民が気軽に立ち寄ることができ、無料Wi-Fiやタブレット端末を借りることができ。また、専門の職員による図書の案内などを受けられるため。



白谷海浜公園陸上競技場運営事業

問 陸上競技場走路修繕工事は具体的にはどのような修繕か。

答 経年劣化で傷んだ走路合成ゴム舗装の張り替えであり、施工箇所は9カ所、面積は約90平方メートルの予定。使用できない期間は約1カ月を想定している。

(3/15 予算決算委員会)

議案 No.31

令和4年度国民健康保険特別会計予算

問 保険給付費は、新型コロナウイルスによる影響をどのように捉え算定したか。

答 新型コロナウイルスによる医療費の自己負担額は国の負担だが、それ以外は他の保険診療と同様、保険者の負担であるため、コロナの影響のない年を含め5年間の伸び率等を参考に積算した。

問 被保険者は年々減少しているのに保険給付費が増加している理由は何。

答 1人当たりの医療費が高額となる65歳以上の割合が増加しているため。

議案 No.33

令和4年度水道事業会計予算

問 営業損失が出ていることは改善すべきことだと思いが、水道料金の改定の考えは。

答 営業損失は、平成26年度以降継続している状態で、改善が必要であると考えており、水道料金は、令和一桁台後半に改定を見込んでいる。

(3/16 予算決算委員会)

議案 No.35

令和4年度一般会計補正予算(第1号)



問 クリスタルポルト取得に当たり、財政調整基金を繰り入れしているが、国や県の支援の見込みは。

答 愛知県等と調整を進めている状況であり、国・県の補助制度を含め最大限財源確保に努める。

問 施設改修工事設計業務の内容は。

答 事前調査、基本設計および実施設計であり、建築の改修工事、電気設備工事、機械および外溝工事等を算出するための内容となっている。

問 設計はいつ頃完了の見込みか。

答 工期としては、令和4年4月から12月までの予定。

(3/22 予算決算委員会)

討 論

請願、意見書に
対する本会議での
賛成・反対の
表明です

請願第1号

ガソリン及び軽油価格に対する補助金 増額を求める請願書

反対(内藤浩)

請願提出時の原油高騰状況と現在では
状況が激変しており、委員会では議論と
なった燃料油価格激変緩和補助金につ
いては、燃料油価格抑制制度を発動中
で、補助額は上限で実施されている。
世界的な戦争・災害による資源危機の
対応は市民を対象に何ができるのか、
今は国、県、市それぞれが対応できる
ことに注力するものと考ええる。

賛成(廣中清介)

国の動きも承知しているが、世界情勢
は一層不安定化しており、原油価格の
さらなる高騰は避けられないと考える。
車に頼る方が多い半島内の交通利便性
を確保するとともに、燃料代がコスト
に直結する農業・漁業等の地場産業を
守り、それにより全国の田原市産品の
消費を守るためにも、補助金増額を求
める意見書を国に届けるべきである。

意見書案第1号

地方たばこ税を活用した分煙環境整備 に関する意見書

反対(岡本重明)

本意見書は、健康増進法の一部改正を
求めることで対応が可能である。その
上、個人の営業方針によって対応でき
る部分を含んでいる。また、請願・陳
情に対する議会としての審査の軸足が
定まっていない。よって、本意見書の
提出に反対する。

賛成(中神靖典)

望まない受動喫煙はあってはならない
一方で、たばこは合法的嗜好品である。
たばこ排除の考えを捨て、共存を是と
し、喫煙場所整備への助成制度創設、
公共喫煙場所整備への地方たばこ税を
活用した制度整備は、少数者を排除し
ない多様性のある社会への試金石と見
なされる。



賛否が分かれた請願・意見書

番号	請願・意見書名	結果 (賛成:反対)	岡本 重明	赤尾 昌昭	鈴木 和基	廣中 清介	古川 美栄	長神 隆士	内藤 喜久枝	辻 史子	小川 貴夫	岡本 禎稔	平松 昭徳	太田 由紀夫	内藤 浩	村上 誠	仲谷 政弘	中神 靖典	大竹 正章	森下 田嘉治
請願1	ガソリン及び軽油価格に対する補助金増額を求める請願書	不採択 (2:15)	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—
意見書1	地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する意見書	可決 (16:1)	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

○…賛成 ×…反対 —…議長は議決に加わらない

■意見書を送付しました

▽地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する意見書

愛知県飲食生活衛生同業組合田原支部、田原市内たばこ耕作者などからの陳情を受け、3月9日の総務産業委員会審査し、賛成多数で採択されました。

また意見書案を3月22日の本会議において賛成多数で可決し、内閣総理大臣、総務大臣などに送付しました。

※内容はホームページでご覧いただけます。(QRコードからもアクセス可能です。)



■請願を審査しました

▽ガソリン及び軽油価格に対する補助金増額を求める請願書

野副博文氏からの請願を受け、総務産業委員会での審査後、本会議で採決した結果、不採択となりました。

(紹介議員 岡本重明)

令和3年 議会活動状況の報告

令和3年は、定例会を3月、6月、9月、12月に開催し、臨時会を2月、4月に開催しました。また、必要に応じて委員会を開催し、議案審査などを行いました。こうした1年間の議会活動の概要を報告します。

(令和3年1月1日～令和3年12月31日)

議会活動状況 令和3年	本会議	定例会	4回 (会期日数 82日、会議日数 16日)			
		臨時会	2回 (会期日数 2日、会議日数 2日)			
		一般質問	代表質問：延べ日数 1日、延べ人数 2人			
			個人質問：延べ日数 8日、延べ人数 31人			
		傍聴者数	18人			
		議会運営委員会	14回	同協議会	15回	
		総務産業委員会	5回 (付託議案件数 21件)	同協議会	7回	
		文教厚生委員会	5回 (付託議案件数 17件)	同協議会	9回	
		予算決算委員会	12回 (付託議案件数 19件)	行政評価勉強会	2回	
		広報広聴委員会	10回	編集会議	8回	同協議会 9回
		全員協議会	1回			
		新型コロナウイルス対策検討特別委員会	2回	同協議会	7回	
		行政視察 議員研修会	※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
		委員長会議	5回			
	市内視察	2回 (総務産業委員会 1回、文教厚生委員会 1回)				
	勉強会等	6回 (総務産業委員会 2回、文教厚生委員会 2回、広報広聴委員会 2回)				
	議案件数 (令和3年)	条例 16件 選挙 0件 意見書 3件 決議 0件	予算 14件 推薦 3件 請願 2件 報告 15件	決算 6件 その他 21件 陳情 9件 専決 1件		

■ 決議しました

▽ロシアによるウクライナへの軍事侵略を非難する決議

3月22日の本会議において全会一致で可決しました。

※内容はホームページでご覧いただけます。(QRコードからもアクセス可能です。)



ここが聞きたい

一般質問



一般質問とは、議員が自身の考えや市民の皆さんの声をもとに市の行財政全般について方針や執行状況などを質問することです。

代表質問

重点施策を推進する中で重視している取り組みは

市の活性化のため、伊良湖温泉を起爆剤として活用していく



大竹 正章

自由民主党田原市議団



令和4年度施政方針について

問 行政は社会、経済の動向へ柔軟に対応しつつも、大きなビジョンに向かい邁進しなくてはならないと考えるが、今後の展望への基礎的な考え方は。

答 本市を支える農業、漁業、工業、商業など基幹産業の振興が必須となる。中でも、本市における重要な観光拠点である伊良湖地区を重点的に整備することで、吸引力のあるエリアとして人を集め、人と経済効果を市内全体へ波及させ、経済の好循環を生み出していきたいと考えている。

問 社会構造の変化に戦略的に対応し、地域産業の回復を目指す施策を着実に推進する上で、中長期にわたる財政計画、投資計画の必要性と歳入確保への取り組み、全市的な事業見直しが強く求められると考えるが、今回の予算編成にどのように生かされているのか。

答 総合計画の実施計画において、向こう3カ年に取り組むべき主要な事業を整理し、長期的な展望に立ち予算を編成したことで、投資的経費など必要な予算の確保ができたと考えている。企業立地や地域産業の育成につながる事業に予算を配分し、将

来に向けた安定的な税収を確保するとともに、国・県の政策に基づく補助金制度などを積極的に活用していく。また、市民目線により事業の必要性や優先度を考慮するとともに、より効果的な実施方法を検討するなど、全ての事業について、ゼロベースで見直しを行った。

問 予算大綱の中の3つの重点施策に基づき、それらを推進する事業を選択したと考えるが、意図する方策、その中でも重視している取り組みは。

答 「住んでみたい・訪ねてみたいまちづくり」では、市全体の活性化に寄与するよう、伊良湖温泉を起爆剤として活用し、「住み続けたいまちづくり」では、最優先として新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を迅速に進めるとともに、教育環境の充実や子育て支援などについて、さらに力を入れて取り組んでいく。「未来につながるまちづくり」では、新たな価値として、地域全体の活性化に向け、あらゆる分野におけるデジタル技術の活用と脱炭素社会の実現を目指した取り組みをスタートさせていく。



平松 昭徳
市民クラブ

代表質問

一層の支出適正化にどう取り組んだか

全事業の精査、優先順位を検討し、ゼロベースの見直しを行う



令和4年度施政方針について

問 予算編成時において、一層の支出適正化と長期的な財源確保策の構築にどのように取り組んだか。

答 支出の適正化については、全ての事業について事業精査、優先順位を検討し、ゼロベースでの見直しを行い適正化に取り組んでいる。長期的な財源確保策としては、税収の確保が第一で、企業立地のみならず地場産業を育成・支援することは、地域経済の発展や市民の雇用環境の充実につながり、個人分の税収にも好影響があると捉えている。

問 新たな観光資源として開発した伊良湖温泉を、伊良湖地区や市全体に生かすためのビジョンは。

答 温泉資源を起爆剤として、豊かな自然や食、アクティビティなどの地域資源を結びつけたウェルネスツーリズム(※1)に取り組むなど渥美半島全体の活性化につなげていく。

問 M a a S(※2)の積極的な活用やC A S E(※3)の社会実験の支援で、新たな公共交通の確立が必要になると思うが、どう考えるか。

答 様々な交通手段を使って、より効率的・経済的に

移動を実現するM a a Sについては、令和3年度にコミュニティバスのバス停の位置や時刻表をオープンデータとして整備し、第一歩を踏み出した。また、C A S Eについては、今後の社会動向を注視していきたいと考えている。

問 たはらゼロカーボンシティでの自動車の電動化への対応について、どのように考えるか。

答 自動車から排出される温室効果ガスを削減するため、電気自動車や水素を燃料とする燃料電池自動車等の自動車の普及を促進していく。自動車の普及に伴い、充電器等のインフラ設備も、事業者と協力しながら普及を促進していく。

※1 ウェルネスツーリズム
自然豊かな地域を訪れ、自然や温泉、料理を味わい、心身ともに癒され、健康を回復、増進、保持する新しい観光形態

※2 M a a S
公共交通等の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービス

※3 C A S E
自動車の次世代のあるべき姿を表した、コネクティッド(C)、自動運転(A)、シェアリング(S)、電動化(E)の頭文字を取った造語

代表質問 P 12 自由民主党田原市議団 大竹正章 令和4年度施政方針について

P 13 市民クラブ 平松昭徳 令和4年度施政方針について

個人質問 P 14 辻 史子 带状疱疹ワクチンについて
がん患者のアピランスケア支援について
保育施設・小中学校手洗い場の自動水栓化について
デジタル弱者への取り組みについて



P 14 村上 誠 地域コミュニティによるまちづくりについて

P 15 岡本 禎稔 地域ブランド力の向上とシティセールスの推進について

P 16 内藤 浩 医療的ケア児に対する支援について

P 16 廣中 清介 「華山劇」と「ふるさと教育」について

P 17 小川 貴夫 市内の高等学校との協力体制について
小中学校の部活動について

P 18 内藤喜久枝 たはら農業プランについて

P 19 岡本 重明 まちづくりについて

がん患者のアピアランスケア(※)支援への考えは

制度の仕組みや対象者数などについて調査し、検討していく



辻 史子

公明党田原市議員



带状疱疹ワクチンについて

- 問** ワクチン接種の費用助成についての考えは。
- 答** 対象者が50歳以上の希望者と幅広く、不活化ワクチンの場合は費用も高額となるため、市民ニーズの確認や、近隣の先進自治体の制度などを調査・研究していく必要があるものと考えている。

がん患者のアピアランスケア支援について

- 問** ウィッグや医療用補整下着などは健康保険の対象外で、数万円から数十万円かかる。がんになっても社会で活躍できるように支援が必要である。がん患者のアピアランスケア支援への考えは。
- 答** がん治療による外見の変化は、社会生活を送る上で、苦痛を感じることが予想される。今後、制度の仕組みや対象者数などについて調査し、検討していきたい。

※ アピアランスケア
がん治療による外見の変化に対し、患者の苦痛を軽減するケア。単に変化前の外見に戻すのではなく、自分らしく生きられるよう、サポートをすること

保育施設・小中学校手洗い場の自動水栓化について

- 問** 感染症対策を踏まえ、今後の保育施設や小中学校の施設における手洗い場の自動水栓などの整備の考え方は。
- 答** 屋内トイレに加え、他の手洗い場についても設置場所や利用用途等を考慮し、自動水栓やプッシュ式・レバー式なども採用し、施設の大規模改修や様々な修繕機会を通じ、必要な整備を進めていく。

デジタル弱者への取り組みについて

- 問** 高齢者がデジタル化の恩恵にあやかり、自らの幸福度を高める活動の支援が必要である。スマホ教室などが行われているが、デジタル活用支援の今後の展開は。
- 答** 地域開催の取組を活性化するとともに、県の高齢者デジタルサポーター事業研修を終了したボランティアの協力も得て、興味を持ってもらえる内容をテーマに教室などを開催し、高齢者のデジタル活用の機会、きっかけづくりに取り組んでいく。

- 問** 地域コミュニティによるまちづくり推進計画の策定効果は。
- 答** 継続して課題に対応するには、新たに地域コミュニティの役員になられた方に地域の課題やその対策が引き継がれる仕組みが必要で、計画を策定する効果は高いと考えている。また、全コミュニティ協議会で策定されたため、それぞれの課題や取り組み内容が分かり、同じ課題を持つ他の地域の参考にもなっている。

- 問** 市と地域コミュニティは、どのようなことに取り組んできたか。
- 答** 条例による地域コミュニティの位置付けの明確化、市民館の整備、市職員のアドバイザー派遣、補助金やまちづくり推進計画策定の支援など、地域要望に配慮しながら活動支援に取り組んできた。また、地域側は地域コミュニティ連合会が発足し、全コミュニティの連携体制が構築された。研究会など共通課題の解決に向けての対応や地域要望書の取りまとめなど、継続的に取り組んでいる。

地域コミュニティによるまちづくりについて

住みよいまちづくりを実現するための今後の展開は

「活動目的・目標の共有」「全員参加」「連帯意識づくり」の実現を念頭に取り組む



村上 誠

自由民主党田原市議員





岡本 禎稔

自由民主党田原市議団



定住・移住促進に向けた新たな取り組みは

実証実験的に移住希望者への地域滞在支援などを実施する

地域ブランド力の向上とシティセールスの推進について

問 渥美半島たはらブランドを含め、今後の地域ブランド力の向上に向けた取り組みは。

答 新たな取り組みとして渥美半島たはらブランドプレミアムの商品開発を行うなど、ブランド力向上に向けた先導的事業として積極的に取り組みを進めている。

問 地域の人々と多様に関わる関係人口の増加を効果的に進めていくための、セールス活動の取り組みは。

答 特産品等の返礼品を通じて市の魅力を全国に発信する、ふるさと納税制度の活用や、本市の魅力に触れ、たはらファンになってもらう体験型観光「観光体験博覧会たはら巡り～な」の企画、その他にもSNSでの発信や、首都圏でのプロモーション活動、サーフィンをはじめアウトドアスポーツのPRなど、市民や事業者等と連携して様々な取り組みを行っている。

問 ふるさと納税制度と体験型観光は本市産業の活性化にも影響し、工夫次第で効果が大きく変わる取り組みと考えるが、今後の展開は。

答 ふるさと納税制度は本市と市外の人をつなぐ重要なツール。コロナ禍で高まっているマイクロツーリズム需要を捉えるため、市内での体験や宿泊、飲食などが行える体験型返礼品など、さらに魅力ある返礼品の拡充を図っていく。また、体験型観光は、新たな観光資源である伊良湖温泉を結び付けたウェルネスツーリズムの展開など、観光客に選ばれる魅力ある旅行商品の造成を図っていく。

問 定住・移住促進に向けた新たな取り組みは。

答 実証実験的に移住希望者への地域滞在支援や、市街地における民間宅地開発への支援などを実施し、社会に浸透しつつあるテレワーク移住や、地方移住の流れを捉えた移住促進、また、土地の流動化と市街地への定住誘導を図っていく。

問 地域コミュニティの現状と課題をどのように認識しているか。

答 人口減少、少子高齢化、小世帯化などの変化が、地域コミュニティや各種団体の担い手不足、活動の停滞を引き起こす要因となっていると認識している。働き方・暮らし方の多様性を認め合い、できる限り個人の負担を少なくしつつ、人と人との助け合いを実現するかが課題となっている。

問 地域コミュニティを中心とする住みよいまちづくりを実現するために、今後どのようなことに配慮した展開が必要と考えているか。

答 連合会が掲げる「活動目的・目標の共有」「全員参加」「連帯意識づくり」の実現を念頭に、市民館などの拠点整備、地区集会所、地域の公園整備や各種行事等への補助金交付、市民館主事、職員アドバイザー派遣などの人的支援、加えて、地域の負担軽減に配慮した市依頼業務の見直しなど、地域の実情に配慮しながら改善に取り組む必要があると考えている。



医療的ケア児を持つ家族への取り組みは

家族の意向を尊重し環境整備に取り組んでいく



内藤 浩

自由民主党田原市議団



医療的ケア児に対する支援について

問 医療的ケア児の成長に合わせた切れ目のない支援体制の取り組み状況は。

答 令和元年9月に田原市医療的ケア児等支援検討会議を立ち上げ、支援に係る課題や対応策について意見交換や情報共有を図り、令和2年度には本人とその家族に寄り添い、必要な支援の調整役を担う医療的ケア児等コーディネーターを3名配置し、切れ目のない支援に取り組んでいる。さらに、成長段階ごとの心身の状況や相談支援内容を記録するリレーファイルを活用することも検討している。

問 医療的ケア児を持つ家族への支援の現状は。

答 医療機関から医療的ケア児等コーディネーターが情報提供を受け、入院中から退院後の支援について家族の意向も確認しながら相談支援を行っている。また、必要に応じて保育所や学校に看護師を配置するなど、安心して子どもを預けることができる環境を確保するよう支援している。

問 家族にとっては災害時の対応も心配である。本市における医療的ケア児を含めた個別避難計画の作成状況は。

答 本年度から検討を開始したところで、医療的ケア児も避難行動要支援者として対象者の心身の状況、居住実態などを踏まえ個別避難計画を作成していく。

問 医療的ケア児を持つ家族にとって、田原市第2期子ども・子育て支援事業計画の基本理念(※)を、どのように実現するのか。

答 家族の意向を尊重しつつ、医療的ケアが必要な子どもと必要ない子どもが、共に地域で保育・教育が受けられる環境整備に一層取り組んでいく。

※ 田原市第2期子ども・子育て支援事業計画の基本理念
子どもたち自身が笑顔で健やかに育っていく環境づくりに取り組む

問 華山劇の発信は本市の文化の発信として重要と考える。劇の市外への発信には、どのような可能性があるか。

答 劇を再び上演し発信することは難しいと考えるが、劇を通して華山のことを学んだ人たちが、様々な形で発信してくれるものと考えられる。

問 渡辺華山の生きざまを学ぶことは、本市のふるさと教育に生かせるのでは。

答 蘭学の研究などで世界情勢の本質を見抜く目を養い、日本や田原の将来を強く案じた華山の生き方を学ぶことは、ふるさと教育に生かせると考ええる。

問 劇を収録したDVDや台本など、華山劇上演実行委員会から寄贈された資料の活用方法は。

答 図書館などでの閲覧や貸し出し、DVDを活用した上映会等の開催を検討していく。

「華山劇」と「ふるさと教育」について

図書館などでの閲覧や貸し出し、また上映会の開催を検討していく

華山劇を収録したDVDや台本の活用は



廣中 清介

無派不撓クラブ





小川 貴夫
自由クラブ



部活動に対する教育長の考えは

部活動の現状と今後の方向性の理解、支援・協力してもらう仕組み作りが重要

市内の高等学校との協力体制について

- 問** 市内の高等学校への進学傾向は。
- 答** ここ3年間では、年々市外へ進学する生徒の割合が増加傾向にある。
- 問** 市内3高校の定員割れを防ぐため、市として3校のPTA会長や同窓会長、校長、市の教育関係者を含め「高校魅力化プロジェクト協議会（仮称）」を設置してはどうか。
- 答** 市内3高校とは、これまでと同様に今後も情報交換する機会を持つため、その中で設置の可能性について研究していきたい。
- 問** 市外から入学する高校生への奨学金制度を設けては。
- 答** 今のところ考えていないが、高校の状況や県の意向を踏まえ、助成制度に限らず、市でできる可能な支援は検討する。

小中学校の部活動について

- 問** 部活動を参加希望制にすることで、メンバーがそ

- ろわないことがあると思うが、対応策は。
- 答** 可能な限り児童生徒の希望により部活動選択ができるよう、他校との合同チーム編成の可否について、今後検討していく。また、男女混合チームや学校単位ではなくクラブチームでの参加など、各種大会への参加条件の見直しを検討するよう主催者側に働きかけていく。
- 問** 希望する教員は休日の活動の人材として協力してもらえるのか。
- 答** 休日の活動については、教員でなく地域の人材が担うものであるが、教員としての立場ではなく、地域の一員として協力することは可能である。
- 問** 部活動に対する教育長の思いは。
- 答** 教育的意義の大きさは認識しつつも、これまで内在してきた問題を解決するためには、部活動の在り方を変えていかなくてはならない。そして、新しい仕組みは、持続可能なものでなければならない。そのためには、多くの方に部活動の現状と今後の方向性をよく理解してもらうことと、支援・協力してもらう仕組み作りが重要であると考えている。

問

本市が目指すふるさと教育の今後の展望は。ふるさと教育は人づくりの活動であると考え、引き続き、郷土を愛する心を育み、自己を確立し、生き抜く力をつける「ふるさと教育」を推進していく。

問

ふるさと教育における取り組みは。学校教育では、地域の「人・もの・こと」と関わる学習を展開、社会教育では、文化体験教室や市民カレッジ、本市出身のスポーツ選手による教室等を開催。図書館では地域資料の収集・閲覧・貸し出しや司書が学習を支援するレファレンス業務、博物館では地域の伝統・文化・人物等をテーマとした展覧会、文化財ガイドなどの啓発冊子の発行、学芸員による出前授業などを行っている。



コロナ禍からの早期回復など将来像を示す必要があるのでは

関係機関、農業関係者からの意見を集約し、今後の戦略などを計画に位置付ける



内藤 喜久枝
自由民主党田原市議団



たはら農業プランについて

- 問** 農業後継者の確保に向けた今後の取り組みは。
- 答** 国や県の支援制度を活用し、農業後継者の就農を支援していく。また渥美農業高校との連携や、小中学生に対する啓発活動などを実施する。
- 問** 生産性の高い農地の有効活用として農地の大規模化が考えられる中で、農業の法人化も一つの方法であると思うが、市の考えは。
- 答** 大規模化が進む中で、法人化を希望する農家が増加し、その結果、力のある経営体が育って新たな雇用が創出されることは、市としても大変望ましいと考えている。
- 問** 労働効率性の向上のため、市はどのようにスマート農業の導入を進めていくのか。
- 答** 地域農業の中心経営体がスマート農業を進める中で、地域への波及効果が期待される場合は、市独自の支援策を行っていききたいと考えている。
- 問** 農業セーフティネットへの関心が高まっているこの時に、補助制度も見据えた収入保険の加入促進

- に対する市の考えは。
- 答** 愛知県農業共済組合が行う加入啓発活動に協力し、加入促進に努めていく。
- 問** 新たな社会要求であるカーボンニュートラルについて、農業分野での取り組みも重要になってくると思うが、農業プランの改訂にどのように反映して取り組むのか。
- 答** 環境負荷の少ない機器や品種の導入、畜産ふん尿などの活用、さらなる土づくりの推進などに効果のある取り組みを農業プランに位置付け、進めていきたい。
- 問** 農業プランには、コロナ禍による閉塞した状況からの早期回復、農業が将来に希望を持ち、魅力的な農業を継続していくことができる将来像を示す必要があると思うが、市の考えは。
- 答** 現在の需要動向調査を行うとともに、関係機関、農業関係者からの意見を集約し、今後の戦略や施策を計画に位置付け、持続可能な営農環境の実現が図れるようにしていきたい。

議会ホームページで本会議(一般質問)の映像を見ることができます

パソコン・スマートフォン・タブレット端末で本会議(一般質問)の映像を見ることができます。



利用方法

- ①下のQRコードかアドレスからアクセス
- ②視聴したい定例会、日程、議員を選択



<https://www2.city.tahara.aichi.jp/gikai/>

スマートフォンで議会だよりが読めます

無料アプリ「マチイロ」で「議会だより」をスマートフォンでご覧になれます。

簡単な設定を行えば、議会だよりの発行に合わせて通知が届き、移動中などちょっとした空き時間にご覧になれます。ぜひ、ご利用ください。



利用方法

- ①下のQRコードかアドレスからアクセス
- ②「マチイロ」をダウンロード
- ③個人設定→お住まいの地域を「田原市」に設定



マチを好きになるアプリ



https://machihiro.town/lq/aichi_tahara



岡本 重明
みんなの党愛知

国家戦略特区に対する本市の基本的な考え方と取り組み状況は

検討すべき手法の一つと捉え、先行事例等の情報収集を継続的に行っている



まちづくりについて

問 農業の低収益性など様々な課題解決に向け、積極的な規制緩和を通じ、地域活性化に結びつける制度である、農業分野の国家戦略特区に対する本市の基本的な考え方と取り組み状況は。

答 農業分野を含め新たな動きが生じた際には検討すべき手法の一つと捉えている。民間事業者を含めこれまで新たに規制緩和等が必要な状況は生じていないが、先行事例等の情報収集は継続的に行っている。

問 特区制度は新たな農業事業の可能性が見いだせる制度であるが、制度の活用等に対し、市として啓発活動を行ったことがあるか。

答 特定事業の募集は愛知県が主体となって行っており、国家戦略特区に関するホームページやパンフレットによる周知のほか、特区利用に関するセミナーも毎年開催されている。市は、事業者から相談があった場合、内容に応じ支援制度の一つとして事業の紹介を行っている。

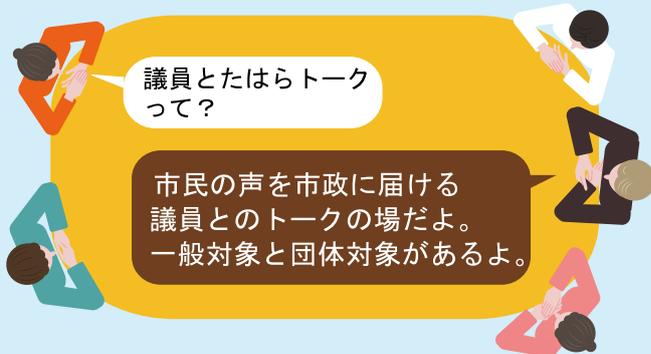
問 農地で生産以外の活用を行う場合、農地の転用手続が必要となるが、特区制度により農地転用に係る手続を簡略化する手法が見いだせないか。

答 農地転用手続きの簡略化は特区の特例措置のメニューにないため、具体的な計画を示した上で新たな規制緩和について提案を行い、国で認められる必要がある。

問 荒廃農地活用に果樹などに併せ、桜や紅葉等を植え景観維持農地を作り、観光的に活用しようとした場合、許認可の手続きが必要か。

答 具体的な計画内容により判断する必要があるが、観光農園と同様の内容であれば、農地転用の申請や建築許可などの手続きが必要になるものと想定される。

議員とたはらトーク



●一般対象とは
市民館などで開催します。申し込み不要、どなたでも参加できます。

※新型コロナウイルス感染防止のため、マスクの着用と検温・消毒にご協力ください。また、入場制限を行う場合があります。

●団体対象とは
5名以上で共通の活動をしている市民や団体であれば、開催をリクエストできます。お気軽にお申し込みください。

議員とたはらトーク 🔍 検索

お問い合わせは、お近くの議員が議会事務局まで(☎23-3533)

最新情報は
ウェブサイトでご確認ください→
(団体申し込みもこちらから)



このようなことが決まりました

令和4年 第1回 臨時会 (1月24日)

議案第2号 令和3年度一般会計補正予算 (第8号)

子育て世帯への臨時特別給付金等の補正予算を可決しました

市内全ての子どもに給付できるよう迅速に支給しました。

議案番号	議案名
1	専決処分の承認 (一般会計補正予算 (第7号))
2	令和3年度補正予算 (一般会計補正予算 (第8号))

■ 令和4年第1回臨時議会議案一覧

市長提出議案

今臨時会では、賛否の分かれた議案はありませんでした。

主な質疑

議案 No. 2

令和3年度一般会計補正予算(第8号) 住民税非課税世帯等臨時特別給付金支給事業

問

対象の家計急変世帯として見込んだ2300世帯は、どのような基準で算定したか。

答

子育て世帯の全国的な家計急変者割合などの指標による対象者数、相談窓口の来訪者数などから見込んだ。

問

家計急変世帯の方で支給を受けようとする場合は、自分で申請する必要があるが、その周知方法は。

答

市のホームページや広報への掲載、市役所の窓口、社会福祉協議会やハローワーク等にチラシを備えて周知する。その他、市民からの問い合わせに答えるコールセンターを設ける。

子育て世帯への臨時特別給付金支給事業 (市独自)

問

昨年12月の定例会とその後専決処分により、子育て世帯への臨時特別給付金の給付が施行されたが、今回、市独自で予算を上程した事業の立案プロセスは。

答

1月に国から、地域の実情に応じた給付金の支給対象外とされた方への支給を検討するようにとの通知を受け、市内全ての子どもに公平に給付金が行き渡ることが適切であると考えた。

問

市独自の考えであれば、大学生などお金のかかる世帯に支給することが必要と考えるが、検討はしたか。

答

今回は、国の臨時特別給付金の制度に基づいた対象者などへの支援であり、18歳以上は、今回の給付金と別の対象者であるため、それぞれの部署で検討していく必要がある。

(1/24 予算決算委員会)

市議会の仕組み



議案

市長や議員が議会に提出する案件



請願・陳情

市民が市や国に要望すること



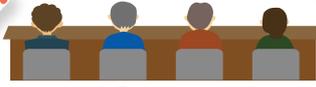
本会議

議案等を審議し、議会の最終意思を決定



委員会

報告 付託



議決

議決された議案は市長に送付



意見書

市だけで解決できない問題を国などへ提出



1月8日
田原市消防出初式



はなのき広場で行われた消防出初式に出席し、消防団員を激励しました。

1月9日
成人式



田原市総合体育館・渥美文化会館で開催された成人式に議長・副議長が出席し、新成人に激励の言葉を送りました。

1月20日
議員研修



今後の防災を考える一環として「地形・地質から見た渥美半島の過去の地震・津波災害」について学びました。

3月23日
総務産業委員会市内視察



4月から稼働の伊良湖温泉スタンドについて説明を受けました。

3月26日
伊良湖温泉交流サミット



温泉による地域活性化のための伊良湖温泉交流サミットと情報交換会に参加しました。

3月27日
あかばねこども園竣工式



あかばねこども園竣工式に出席しました。

お知らせ information

令和4年第2回定例会（6月定例会）会期
6月9日（木）～6月23日（木）

日	月	火	水	木	金	土
5/29	30	31	6/1	2	3	4
5	6	7	8	9 本会議 (議案審議)	10	11
12	13 本会議 (一般質問)	14	15	16 文教厚生委員会 総務産業委員会	17 予算決算委員会	18
19	20	21 議会運営委員会	22	23 本会議 (採決等)	24	25
26	27	28	29	30	7/1	2

開会時刻は10時です。(6月16日の総務産業委員会は13時30分)

※日程および時間は、変更になる場合があります。

📺マークの日に、一般質問の映像をケーブルテレビ・インターネットで中継していますので、ぜひご覧ください。
本会議・委員会は、誰でも傍聴できます。(感染症対策をお願いします)



まちかど インタビュー

Vol.33

清田・福江校区まちづくり
推進協議会の皆さん

— つるし飾りの始まりは？ —

平成25年の夏、景観まちづくりの視察で岐阜県の恵那市岩村町を訪れた時、まちの統一感を感じる風景を見て、福江のまちでも多くの人に散策などで楽しんでもらい、まちを活性化できないかと取り組みました。

— つるし飾りについては？ —

毎年2月から福江地区の免々田川で開催される、渥美ロータリークラブ主催の「菜の花・桜まつり」に合わせて「福江*つるし飾りロード」として開催しました。

開催に向けて清田小学校・福江小学校・福江中学校の児童、生徒たちが「田原市の自慢やその年の出来事」をテーマに、紙粘土で作った飾りにアクリル絵の具で色付けを行い、福江保育園の園児には紙コップに色柄付きの折り紙を巻き付け、渥美半島にちなんだつるし飾りを作りました。

また個々の家や店舗には、河津桜をデザインした真っ赤なのれんとともに店先に飾り付けています。



— 「福江*つるし飾りロード」への取り組みは？ —

平成28年度都市景観大賞の景観まちづくり活動・教育部門で、「福江*つるし飾りロード」が大賞を受賞しました。

今年は、免々田川沿いの菜の花と河津桜のイメージでピンク色のシレネ・ピンクパンサーをプランターに植え、福江中学校の園芸部とドリームの会の協力を得て、つるし飾りの沿道ににぎわいを出しています。

また、地域の魅力をまとめた「福江・清田 見どころ&美味しんぼう散歩マップ」で、つるし飾りやひな人形を設置する場所や、飲食店の案内などを地元の福江中学校の生徒が協力し紹介していますので、ぜひ福江のまちなかを散策してください。

— 今後に望むことは？ —

次代を担う子どもたちが、地域に関わることで地域の良さを知り、自分のまちを誇りに思えるようになってほしいと思います。



(聞き手：内藤 浩) 令和4年3月取材



発行/愛知県田原市議会 編集/広報広聴委員会 〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場30-1 ☎ 0531-23-3533 FAX 0531-22-5952

☞ <https://www2.city.tahara.aichi.jp/gikai/>

✉ gikai@city.tahara.aichi.jp

募集

パートさん

しその葉の摘み取り作業

内職さん

しその葉の結束・パック詰め

(応募) まずはお気軽にお電話ください。

TEL 0531-37-0447

(有)前田園芸 田原市江比間町二字郷中45
自宅: TEL0531-37-0447



社会福祉法人福寿園

【法人本部】田原市六連町神ノ釜 9-3 Tel 27-0008

愛と感謝と奉仕

養護盲老人ホーム 福寿園
特別養護老人ホーム 田原福寿園
地域密着型複合福祉施設 田原ゆの里
ケアハウス パシフィック
特別養護老人ホーム 渥美福寿園
地域密着型複合福祉施設 花の里



田原福祉グローバル専門学校

※財源確保のため、有料広告として掲載しています。広告については、田原市議会が推奨するものではありません。